



**ローカルスタンダードのみちづくり懇談会を開催**  
12月13日(月)

12月13日(月)に、陸前高田市矢作町三の戸地区でローカルスタンダードに基づく道路整備についての第3回住民懇談会を開催しました。今回は検討委員の外、三の戸地区の住民の方にも出席してもらい道路整備の最終案を検討していただきました。

はじめに、県から前回要望された事項の検討結果を踏まえた計画案を説明しました。

歩行者の安全確保のための歩道設置については、側溝及び路肩のスペースを歩行者が利用できるような舗装等することで対応し、また、2車線での整備については買収用地を極力最小限にし、走行性のよい(右につづく)



道路とするためには現道に沿った1.5車線の改良が一番良いことを比較検討図を示して説明しました。

2車線化の要望については、11月の第2回懇談会以降数回に亘って地域住民や陸前高田市と現地あるいは合庁で意見交換を行ないました。せっかく整備するのであれば2車線でという地元の思いはやはり相当強いものがありましたが、当該路線の位置づけやローカルスタンダードの趣旨を再度説明し1.5車線の改良での整備を納得して頂きました。そのこともあって、今回の懇談会では満場一致で最終的な整備計画案が承認されました。

今後は現地の地形測量に入る予定です。



**一般県道遠野住田線 新橋が開通**

12月15日(水)

平成16年12月15日(水)、一般県道遠野住田線新橋が開通しました。

新橋は、橋長11.9m、全幅12.0m、車道幅7mで両側に2.5mの歩道が設置されています。

当工区は、遠野市の区画整理事業とも近接しており、遠野市と一体となり進めました。14ヶ月間に渡る工事期間中は、大きな問題も無く今回無事に工事を終えることができました。

開通式は、あいにくの肌寒い曇り空でしたが、沿道には200人以上の大勢の市民が集まり新しい橋の開通を見守る中、地元の保育園園児による鼓隊演奏が行われ華やかな開通式となりました。



**久慈地区で工事安全パトロールを実施**

12月13日(月)

12月13日(月)、久慈地方振興局発注の公共土木工事を対象に工事安全パトロールを行ないました。

これは、工事の遂行にあたり、労働災害を未然に防止するために工事現場を巡察し、諸設備状況の状況、作業方法、安全衛生、災害防止対策全般について検討し、その工夫改善を図り、工事を円滑に進捗することを目的とするもの。

当日は、二戸労働基準監督署、久慈警察署ほか計24名が参加。点検の結果、多数の意見が挙げられましたが、要改善事項については、直ちに改善し労働災害の未然防止に努め、工事の円滑な実施に努めていきます。





**主要地方道栗駒衣川線 天土工区のバイパス供用開始!!**

12月22日(水)

主要地方道栗駒衣川線 衣川村天土地内にて整備を進めているバイパス工事が完了し、12月22日(水)に無事開通式を迎えることが出来ました。当日は、晴天の中、地域住民による渡初め式も行われました。

路線名 : 主要地方道栗駒衣川線  
 位置 : 胆沢郡衣川村天土地内  
 計画 : L=1,260m W=6.0(11.5)m  
 1号橋(天河橋) L=126.5m PC3 径間連続コンポ桁橋  
 2号橋(鳴石橋) L=145.0m 鋼 5 径間連続鉸桁橋



**恒例の地域奉仕(清掃)活動を実施!**

12月24日(金)

一関市舞川地区で進める冠水対策道路改築事業安全協議会は、14年度に発足し4年目を迎えようとしています。定例の現場安全パトロール・検討会は回を重ね、もうすぐ20回。現場内の不安全状態・行為を戒めあい、改善を繰り返すたびに、互いの安全意識が高揚しお陰さまで、無事故無災害を更新中です。

「今日あるのも、地域住民の温かい理解があって成しえること」との感謝の気持ちを込め、今年最後の清掃活動を実施しました。数年前に環境美化運動で大臣表彰を受けた地域であり、さすが出るゴミは微量。日当たりの好い斜面には、椿・梅は無論、何を間違えてか福寿草やボケの花まで咲いていました。



**日詰地区「暮らしのみちゾーン」へ向けた住民懇談会を開催**

12月10日(金)

12月10日(金)に紫波町日詰地区の「暮らしのみちゾーン」に向けた住民懇談会を開催しました。

紫波町の広報や有線放送などにより懇談会の開催を呼びかけ、当日は役場関係職員を含め70人程度が集まりました。

今回の懇談会では振興局土木部より3つの計画案を説明し、また日詰商店会からは1つの計画案が示されました。計画案について少人数のグループをつくり討論してもらい、グループの代表者に発表してもらう形をとったため、多くの方の意見を集めることができました。今回の住民懇談会で話し合われた内容については、地域の方へ新聞を作成し配布する予定です。



**フォーラム「地域の景観を考える」開催!**

12月23日(木)

12月23日(木)、盛岡市のエスポワールいわてを会場に、フォーラム「地域の景観を考える」を開催しました。午前中の特別講演では、建築家・安藤忠雄さんから、「景観や環境はみんなで守り育てるもの。地域の取組みにより、豊かな景観を作って欲しい」「自分の感性を磨き、自分も景観づくりに関わるといった認識を身につけて欲しい」といった話がありました。

また、午後は大迫町田中小空蔵地区をはじめとする地域の景観点検実践報告が行われ、その後のパネルディスカッションでは、住民の参加を促すことの難しさや美意識の啓発の苦勞、景観教育の必要性等について意見が交わされました。